



館長インタビュー

次の50年も、「丘の上の双眼鏡」から
まちと市民とアートの未来を見つめます。

美術館を初めて訪れた人は、まず空に向かって2本の筒(チューブ)が突き出た独特の外観に驚かされることでしょう。カテドラル(聖堂)をイメージして設計されたエントランスなども含め、当館は世界的建築家・磯崎新氏の初期代表作として、公共建築百選にも選ばれています。

また、日本の美術館として初めてボランティア制度を導入し、小・中学生を対象とした多彩なワークショップや、親子でアートに触れるキッズ&ユース・デーを開催するなど、市民に開かれた美術館を目指す姿勢も、当館の大きな特徴の一つです。

開館50周年を迎える今年は、「足立美術館所蔵 横山大観展」をはじめ、約8000点に上る収蔵作品からえりすぐった「あの時、この場所で。展」、津和野町立安野光雅美術館コレクションなど、魅力的なプログラムを用意しています。美術館は、芸術鑑賞はもちろん、建築や食事など、さまざまな楽しみ方ができます。この機会にぜひ、多くの方に足を運んでいただきたいと思ひます。

美術館 後小路 雅弘 館長



古代ローマの神殿を
思わせる空間で
一休み



アトリウム



浮世絵

歌川広重「名所江戸百景 深川洲崎十萬坪」。葛飾北斎、歌川国芳など、浮世絵コレクションは約1300点に上る。



印象派

エドガー・ドガ「マネとマネ夫人像」。開館当初から市民に親しまれてきた、当館の代名詞ともいえるべき収蔵作品。このほかにも、モネやルノワールなどの印象派、絵画や版画を中心とした20世紀美術を豊富に所蔵。



広い空間の展示室

一緒に写真を撮るのもオススメ



彫刻

現代日本を代表する彫刻家・三沢厚彦の「Animal 2016-01」。館内には数々の彫刻作品も。



エントランス



カフェへの通路

窓に面した
カウンター席は、
眼下に市街地が
広がる特等席



カフェ・ミュゼ

一息つきたくなったら、館内のカフェ「カフェ・ミュゼ」へ。パスタランチやランチプレートのほか、企画展に合わせた特別メニューも用意。カフェラテとデザートプレートの組み合わせも人気。

記念行事

夜間特別開館
4月13日(土)
17時30分~20時

開館50周年記念演奏会
4月13日(土) 18~18時30分
[出演者] NPO法人和楽啓明
[場所] エントランスホール

開館50周年記念
企画展



磯崎新
《Reduction OFFICE-1(Bank)》(部分)
1983年 北九州市立美術館蔵
©Estate of Arata Isozaki

※それぞれの企画展の詳細が決まり次第、市政だよりなどでお知らせします。

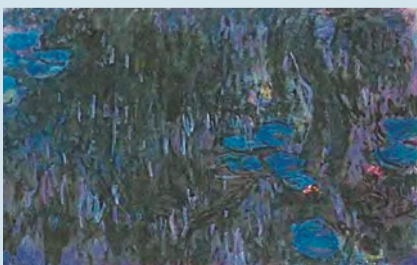
津和野町立安野光雅美術館コレクション
安野先生のふしぎな学校
7月6日(土)~8月25日(日)



安野光雅「ふしぎな学校」『はじめてであうすうがくの絵本1』より
1982年 ©空想工房 画像提供:津和野町立安野光雅美術館

あの時、この場所で。
—コレクションの半世紀—
9月7日(土)~11月10日(日)

磯崎新の原点
九州における1960-70年代の仕事
令和7年1月4日(土)~3月16日(日)



クロード・モネ《睡蓮、柳の反影》
1916-19年 北九州市立美術館蔵

友の会のご案内

「一般・ペア・特別」会員制度
展示会の観覧料の割引を主とした大変お得な制度です。

美術館パートナーズ
展示会の招待券の進呈や、エントランスでのご芳名の紹介を行います。

📄など詳細は📄を。

この特集に関するお問い合わせ 北九州市立美術館 ☎882・7777